

尾道市消防団関係

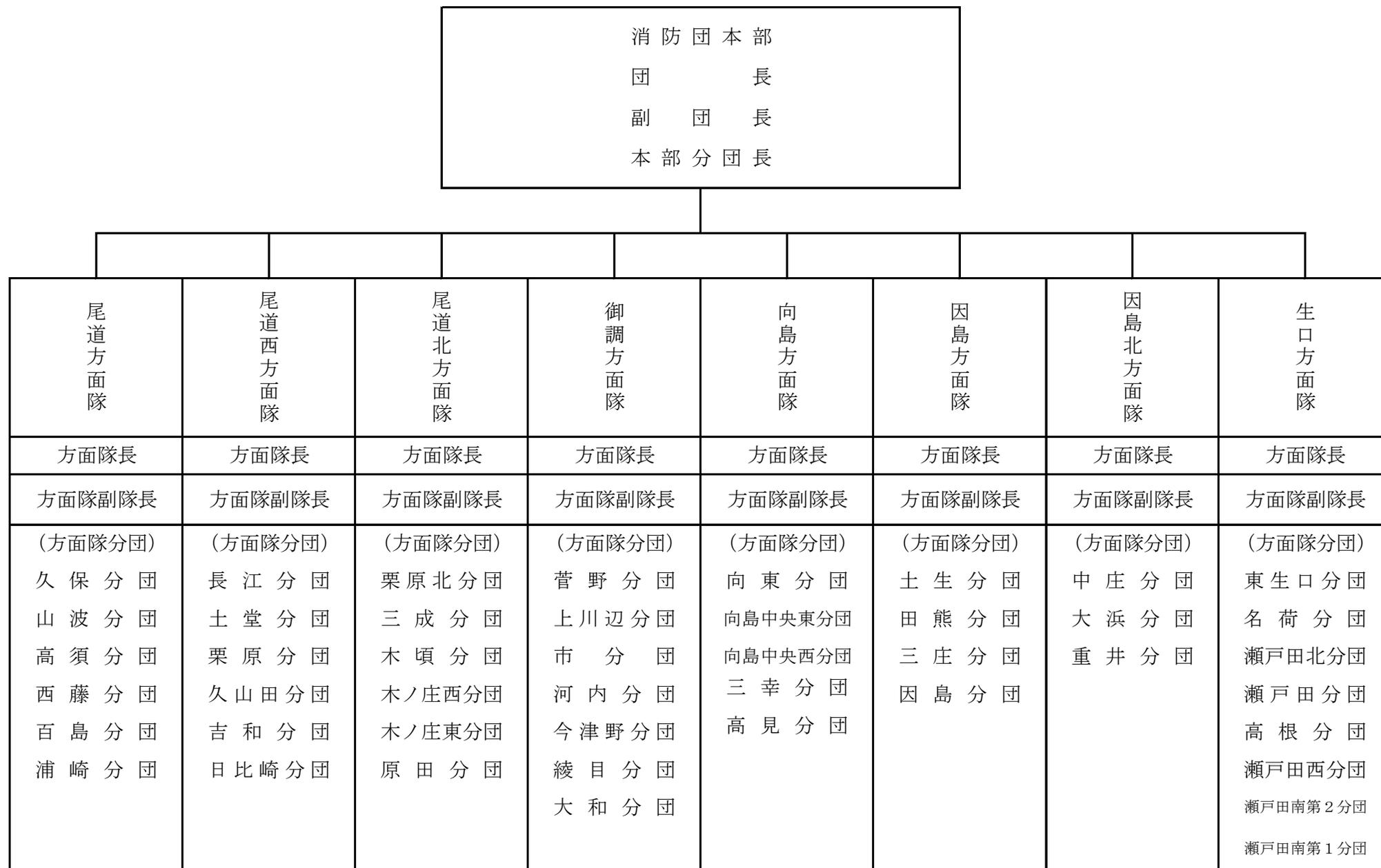
沿革

西 暦	年 月	概 要
1876年	明治 9年	尾道町と後地村合併、尾道町となる。
1889年	22年	町制施行。(久保・尾崎・十四日・土堂・東御所・西御所に分かつ。)
1894年	27年	勅令により尾道消防組を組織する。
1898年	31年 4月	市制施行
1932年	昭和 7年 5月	尾道市消防組常備部設置
1937年	12年 4月	栗原町、吉和村と合併
1939年	14年 4月	警防団令の交付(昭和14年勅令第20号)により、旧消防組及び消防団を改組統合して尾道市警防団を設置する。(5分団、団員830名)
	5月	市内御所橋埋立地広場において、尾道市警防団結成式を挙行
	7月	沼隈郡山波町と合併。(尾道市警防団6分団、団員934名)
	7月	尾道市警防団旗拝受、十四日町長神社にて奉告祭を執行
1940年	15年12月	消防自動車1台を購入
1941年	16年 5月	破壊器具輸送車3台、サイドカー1台購入
1942年	17年10月	フォード・コンマアシャル・シャーシ自動車ポンプ1台購入
	12月	フォード・コンマアシャル・シャーシ自動車ポンプ1台購入
1943年	18年 3月	尾道市警防団定数改正。(803名)
1944年	19年11月	手挽ガソリンポンプ1台寄付受納。(東京日本消防機械社製新フォード30馬力高圧マグネット式1,110円)
1945年	20年 5月	消防艇1隻購入。(日産造船株式会社製 11,383円)
	8月	大東亜戦争終結
1947年	22年10月	消防団令の交付(昭和22年勅令第185号)により、旧警防団を廃止し尾道市消防団として発足。(8分団、団員651名)
1949年	24年10月	機構改革により8分団800名
1950年	25年 1月	尾道市消防団事務を尾道市役所公安保健課から尾道市消防本部へ移管
1951年	26年 4月	御調郡深田村の内、大字久田地区が尾道市に合併、久山田町と改称。(9分団850名)
	10月	機構改革により9分団750名
1953年	28年12月	機構改革により9分団700名
1954年	29年 3月	御調郡美ノ郷村、木ノ庄村、原田村、尾道市に合併、美ノ郷町、木ノ庄町原田町と改称。(21分団、1,453名)
1955年	30年 2月	沼隈郡高須村、西村、尾道市に合併、高須町、西藤町と改称。(27分団1765名)
	4月	沼隈郡百島村、尾道市に合併、百島町と改称。(28分団、1,865名)
	10月	高須分団のうち、1ヶ分団松永市へ合併
1956年	31年11月	尾道市消防団事務を尾道市総務課へ移管
1957年	32年 1月	沼隈郡浦崎町、尾道市と合併、浦崎町と改称
	11月	機構改革に伴い、地区編成替、分団の統合。(5地区14分団、1,210名)
1958年	33年12月	機材整備による人員削減。(1,170名)
1959年	34年 1月	(財)広島県消防協会長表彰、竿頭綬
1961年	36年11月	尾道市消防団事務を尾道市総務課から尾道市消防本部へ移管。(1,162名)
1966年	41年 3月	機構改革に伴い、分団、部の統合。(栗原分団を6部、原田分団を5部、西藤分団を3部に統合)
1967年	42年 3月	(財)日本消防協会から広報車1台寄贈
1968年	43年 9月	(財)広島県消防協会長表彰、表彰旗

西 暦	年 月	概 要
1969年	昭和44年 9月	近代化計画に伴い、1,162名を959名に減員
1970年	45年 4月	御調郡向東町、尾道市と合併。(6地区15分団1,158名)
	9月	近代化計画に伴い、1,055名
1974年	49年 2月	消防団特別隊員発足式。(東、中、西分団)
	7月	消防団特別隊員解散式
1975年	50年 2月	(財)日本消防協会長表彰、竿頭綬
1977年	52年10月	機構改革に伴い、地区隊制廃止。(1,002名)
1978年	53年 3月	自治体消防30周年記念尾道消防大会。(於 消防本部前広場)
	4月	尾道市市制80周年記念式典。(尾道市長表彰、竿頭綬)
1980年	55年 3月	消防庁長官表彰、竿頭綬
1983年	58年 7月	自治体消防35周年記念大会。(於 栗原中学校)
1986年	61年 3月	消防庁長官表彰、表彰旗
1987年	62年10月	近代化計画に伴い、分団区域を小学校区とする。(19分団732名)
1988年	63年 7月	自治体消防40周年記念大会。(於 栗原小学校)
1989年	平成元年10月	近代化計画に伴い、724名
1991年	3年10月	近代化計画に伴い、714名
1993年	5年 9月	機構改革に伴い、役員任期を4月1日から翌々年の3月31日までに改正
1994年	6年 4月	近代化計画に伴い、710名
1996年	8年 2月	(財)日本消防協会長表彰、竿頭綬
	4月	女性消防団員6名を任命。(広島県内で7番目)
1997年	9年 8月	(財)日本消防協会から、小型動力ポンプ付積載者1台寄贈
	11月	全国離島振興協議会から小型動力ポンプ1台寄贈
1998年	10年11月	尾道消防(自治体消防)50周年記念大会。(於 市役所周辺)
2005年	17年 3月	御調郡御調町、向島町、尾道市と合併(5方面隊、30分団、1,128名)
2006年	18年 1月	因島市、瀬戸田町と合併(7方面隊、45分団、1,716名)
2007年	19年 4月	方面隊編成替(8方面隊、45分団、1,716名)
2008年	20年 2月	(財)日本消防協会から指揮広報車1台寄贈
2008年	20年11月	市政110年記念 消防フェア
2012年	24年 2月	(財)日本消防協会定例表彰 表彰旗
2016年	28年 7月	総務大臣感謝状の受贈
	28年12月	(公財)日本消防協会から指揮車1台寄贈
2018年	30年12月	総務大臣感謝状の受贈
2019年	31年 2月	防災功労者消防庁長官表彰
2019年	令和元年 9月	防災功労者内閣総理大臣表彰
2020年	2年 3月	(公財)日本消防協会定例表彰 特別表彰まとい
	2年 3月	消防庁長官表彰(竿頭綬)尾道市消防局と共同受章
2022年	4年 2月	(公財)日本消防協会から指揮車1台寄贈

尾道市消防団組織図

(令和7年4月1日現在)



令和6年度の主な行事等

- 4月 広島県消防協会尾道支部、尾道市消防団員互助会総会
- 5月 新入団員及び部長以上の規律訓練
- 9月 広島県内消防団規律訓練大会（福山市）
- 12月 年末特別警戒（市内全域）
- 1月 尾道市消防出初式（尾道市民センターむかいしま文化ホール）
- 2月 県防災ヘリコプター連携訓練
- 2月 女性消防団員活性化研修会（広島市）

※ 消防器具庫3棟新築

在職年数別団員数

令和7年4月1日現在

階級 年数	計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
計	1,412 (50)	1	13	53 (1)	56 (1)	184 (3)	278 (10)	827 (35)
5年未満	192 (14)					3	15	174 (14)
5年以上 10年未満	260 (18)			1 (1)	1	25 (3)	72 (5)	161 (9)
10年以上 15年未満	208 (10)			2	7	40	75 (3)	84 (7)
15年以上 20年未満	234 (4)			16	19 (1)	44	51 (2)	104 (1)
20年以上 25年未満	176 (4)			9	10	33	32	92 (4)
25年以上 30年未満	180		3	13	10	26	17	111
30年以上	162	1	10	12	9	13	16	101

※うち（ ）は女性消防団員

年齢別団員数

令和7年4月1日現在

階級 年数	計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
計	1,412 (50)	1	13	53 (1)	56 (1)	184 (3)	278 (10)	827 (35)
20歳未満	-							
20歳以上 25歳未満	24 (2)						1	23 (2)
25歳以上 30歳未満	43 (1)					3	2	38 (1)
30歳以上 35歳未満	73 (2)					5	16 (1)	52 (1)
35歳以上 40歳未満	160 (6)				3	17	42	98 (6)
40歳以上 45歳未満	227 (7)			3	8	45 (1)	57 (1)	114 (5)
45歳以上 50歳未満	270 (3)			12 (1)	17	40	61	140 (2)
50歳以上 55歳未満	267 (8)		2	20	12	37 (1)	46 (1)	150 (6)
55歳以上	348 (21)	1	11	18	16 (1)	37 (1)	53 (7)	212 (12)

※うち（ ）は女性消防団員

分団別定員と実員

令和7年4月1日現在

分団別	区分	定員	実員							
			計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
計		1,716	1,412 (50)	1	13	53 (1)	56 (1)	184 (3)	278 (10)	827 (35)
本部		22	22	1	13	8				
久保		30	41 (15)			1	1	4 (1)	6 (2)	29 (12)
山波		24	12			1	1	3	4	3
長江		23	18 (6)			1	1	3 (1)	4 (3)	9 (2)
土堂		24	22			1	1	3	4	13
栗原		36	24			1	2	5	8	8
久山田		22	21			1	1	3	3	13
栗原北		22	15			1	1	3	4	6
吉和		45	27			1	2	6	10	8
日比崎		28	17			1	1	4	6	5
三成		33	34 (2)			1	1	4	6	22 (2)
木頃		33	26			1	1	4	6	14
木ノ庄西		33	36			1	1	4	6	24
木ノ庄東		23	18			1	1	3	4	9
原田		54	50			1	2	6	10	31
高須		45	38			1	2	6	10	19
西藤		33	31			1	1	4	6	19
百島		43	28 (2)			1	1	4	6 (1)	16 (1)
浦崎		88	89			1	2	8	14	64
向東		62	49			1	2	8	14	24
菅野		33	23			1	1	3	4	14
上川辺		33	32			1	1	3	4	23
市		66	56 (4)			1	2	4	8 (1)	41 (3)
河内		35	36 (1)			1	1	3	4	27 (1)
今津野		32	27 (2)			1	1	3	4	18 (2)
綾目		32	27			1	1	3	4	18
大和		26	21			1	1	3	4	12
向島中央東		39	41 (3)			1	1	4	6	29 (3)
向島中央西		37	25			1	1	4	6	13
三幸		46	44 (1)			1	1	4	6 (1)	32
高見		34	33			1	1	4	6	21

分団別	区分	定員	実員							
			計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
土生		32	30 (1)			1	1	4	6	18 (1)
田熊		55	45			1	2	6	10	26
三庄		48	38			1	2	6	9	20
中庄		110	79 (1)			1	2	10	18	48 (1)
大浜		40	19			1	1	4	6	7
重井		63	42			1	2	7	12	20
因島		20 (20)	11 (11)			1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	7 (7)
東生口		35	28			1	1	4	6	16
名荷		20	13			1	1	2	1	8
瀬戸田北		26	22			1	1	3	4	13
瀬戸田		31	24 (1)			1	1	3	4 (1)	15
高根		20	19			1	1	2	2	13
瀬戸田西		29	25			1	1	3	4	16
瀬戸田南第二		25	18			1	1	3	4	9
瀬戸田南第一		26	16			1	1	3	4	7

※うち（ ）は女性消防団員

分団別機械配置状況

令和7年4月1日現在

区分 分団別	計	消 防 ポ ン プ		積 載 車	その他の車両
		消防ポンプ 自 動 車	小型動力 ポ ン プ		
計	269	4	135	123	7
本 部	6				6
久 保	6		3	3	
山 波	4		2	2	
長 江	4		2	2	
土 堂	4		2	2	
栗 原	8		4	4	
久 山 田	4		2	2	
栗 原 北	4		2	2	
吉 和	10		5	5	
日 比 崎	6		3	3	
三 成	6		3	3	
木 頃	6		3	3	
木 ノ 庄 西	6		3	3	
木 ノ 庄 東	4		2	2	
原 田	10		5	5	
高 須	10		5	5	
西 藤	6		3	3	
百 島	6		3	3	
浦 崎	14		7	7	
向 東	14		7	7	
菅 野	4		2	2	
上 川 辺	4		2	2	
市	5	2	1	1	1
河 内	4		2	2	
今 津 野	4		2	2	
綾 目	4		2	2	
大 和	4		2	2	
向 島 中央 東	6		3	3	
向 島 中央 西	6		3	3	
三 幸	6		3	3	
高 見	6		3	3	

区分 分団別	計	消 防 ポ ン プ		積 載 車	その他の車両
		消防ポンプ 自 動 車	小型動力 ポ ン プ		
土 生	5		3	2	
田 熊	6	1	4	1	
三 庄	6		4	2	
中 庄	17		9	8	
大 浜	4		3	1	
重 井	10		6	4	
因 島					
東 生 口	5		3	2	
名 荷	2		1	1	
瀬 戸 田 北	4		2	2	
瀬 戸 田	3	1	1	1	
高 根	4		2	2	
瀬 戸 田 西	4		2	2	
瀬 戸 田 南 第 2	4		2	2	
瀬 戸 田 南 第 1	4		2	2	

定員・報酬・手当

令和7年4月1日現在

階 級	計	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員
定 員	1,716	1	13	53	56	184	281	1,128
職 務 報 酬 (年額円)		82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500
出 動 手 当	<p>○ 水火災等の災害に従事した場合。市長・消防局長・消防団長が召集又は命令した訓練に従事した場合（2時間毎に2,000円）</p> <p>○ その他（2時間毎に1,500円）</p>							

団員表彰状況

令和6年度中

種 別	叙 勲	消 防 庁 長 官	県 知 事	市 長	日 本 消 防 協 会 長	県 消 防 協 会 長	県 消 防 協 会 支 部 長	消 防 局 長	団 長
	1	7	37	41	30	119	81	-	-